

モニターレポート(5月報告)

【報告内容①】

今回は、河川敷内の川沿いの砂利道を5～6km走ってみました。野鳥の多さに驚きました。確認できただけでも、「アオサギ」「ゴイサギ」「シラサギ」、猛禽類の「ノスリ」から「コチドリ」「キジ」「ウミ鶉」「オオヨシキリ」「カッコウ」そのほか、名前も知らない鳥も数種類。双眼鏡でもあればもっと増えたかもしれません。豊かな自然だと再確認しました。

〈事務所からのコメント〉

阿賀野川にいる鳥などの生き物たちを取り上げていただきました。阿賀野川には沢山の野鳥がいます。鳥の名前を沢山ご存じで歓心いたしました。多くの鳥や動物がいるということは、自然が豊かなのだと思いますし、大切に守りたいものです。

【報告内容②】

五月晴れの良い日が続いたかと思いきや、真夏の日差しを感じさせる今日この頃、堤防上を車で巡回した感じでは、小杉地先の堤外地には公園が設置され、心癒やされる場所として嬉しい限りです。また、自転車遊歩道設置工事なども見受けられました。

〈事務所からのコメント〉

新潟市江南区で工事を実施している阿賀野川フラワーラインは、今年度で完成する予定です。

フラワーラインは、江南区の小杉から小阿賀野川の分派点にある阿賀野川床固公園付近までの阿賀野川の河川敷地を利用して整備した自転車用の道路です。阿賀野川を眺めながらサイクリングすることができ、途中には休憩もできる公園を設置しています。

※複数のモニター報告を要約してあります。

【報告内容③】

阿賀野川床固公園では、子供連れの家族が多くいました。これから夏休みにかけて、外でバーベキューをする機会が増えます。個々のゴミは持ち帰るよう意識してもらえるといいです。

〈事務所からのコメント〉

河川敷地内の公園等では、ゴミ箱を撤去して、持ち帰るように看板を設置しています。しかし、肌寒さがなくなり、河川を利用される方が多くなると、それとともにゴミも放置されることが多くなり、はがゆく感じています。

これから河川利用者が増えてきますので、気づいたことがありましたら、ご報告いただければ幸いです。

【報告内容④】

・5月3日

本格的な春でしょうか。川岸の緑と、遅くまで咲いている八重桜の濃いピンクがとてもきれいでした。道中の河川敷には作業される人の数も多く、水田では田植えが始まっていました。

・5月6, 7日

河川敷の水田では、ずいぶん田植えが進んでいました。

40年ほど前、5月1日は地域のお祭りで、その時のごちそうは、メダカのお漬物でした。3年前まで、早出川、太川橋の辺りでも取れましたが、その時点で既に収量がないと言われていたので、残念です。

〈事務所からのコメント〉

チューリップが咲き終わった5月上旬の肌寒い状況が、中旬になると春らしさから初夏のような気候になり、例年より一週間ほど遅い田植えが行われていました。

メダカの収量がないとのことですが、メダカは現在、絶滅危惧Ⅱ類(環境省レッドリスト)に指定され、身近な生き物だったメダカが絶滅するかもしれない存在となってきました。各地でメダカを保護する活動も行われているようです。

※複数のモニター報告を要約してあります。